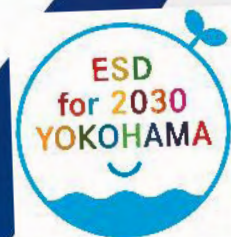




横浜市 E S D 推進コンソーシアム の取組について

横浜市教育委員会事務局
小中学校企画課 渡辺 神村

2025年2月22日



明日をひらく都市
OPEN × PIONEER

横浜市ESD推進コンソーシアム交流報告会

テーマの変遷について

- 【R1】「『**評価**』概念の再考」～ESDの視点から～
東洋大学 米原教授
- 【R2】「国連大学研究による**ESD／GCED調査**結果から見えてきたこと」
東京大学大学院 北村准教授
- 【R3】「私たちの**未来を共に再構想**する」を再構想する
上智大学 丸山教授
- 【R4】「ESDの価値を引き出し、推進に反映するための、
数値化されたデータの見方」～**非認知能力**を考える～
東京大学 上野特任教授
- 【R5】「“わたし”と“わたしたち”の**ウェルビーイング**実現にむけた
学校教育の可能性」
東洋大学 米原教授
- 【R6】「ヨコハマ_ラーニング・コンパス」**子どもたちが望む未来**へ教育を進める
国立社会保障・人口問題研究所 佐々木 主任研究官



SDGs達成の担い手育成（ESD）推進事業 について

【スケジュール】

6月	ESD推進コンソーシアム協議会①（学識経験者及びユネスコスクール校長）
8月	ステークホルダー交流会 @富士フィルムFL00P
9月	ESD推進校児童生徒オンライン交流会① ESD教職員研修①（東京都市大学教授 佐藤真久 氏）
10月	ESD教職員研修②（世田谷区教育委員 澁澤寿一 氏）
11月	ESD推進校児童生徒オンライン交流会② ESD教職員研修③（教職大学院派遣 宗像北斗 氏）
12月	ステークホルダー交流会Season II @テックハブ ヨコハマ（三菱地所）
1月	ESD推進校交流報告会 児童生徒の部／教職員の部 @横浜市技能文化会館
2月	ESD推進コンソーシアム協議会②（学識経験者及びユネスコスクール校長）
3月	サステイナブルブランド国際会議 @東京・丸の内



｜ステークホルダー交流会

8／19（月）PM 富士フィルムFLOORP

12／26PM テックハブヨコハマ（三菱地所）

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

【目的】 地域や社会の課題解決に向けて、教職員や生徒と企業等が連携・協働する見通しをもち、きっかけをつくる。

【アクティビティ】

ポスターセッション

企業からのプレゼン→質疑応答・補足説明

意見交流

学校と企業等のフリーセッション



｜ステークホルダー交流会

9／19（月）PM 富士フィルムFLOORP

12／26PM テックハブヨコハマ（三菱地所）

【振り返り】

「自身の授業の見通しやこのような授業をやりたいという意欲」

「色々な方とチャレンジしていくことで、難題に立ち向かうことができる」

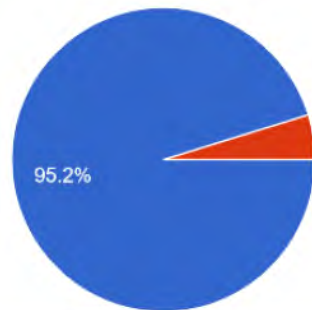
「企業の方と私達がどうつながることができるか、色々考えることができた」

「様々な角度での危機感や企業連携の重要性を実感できた。」

【アンケート】

学校の方は企業等と、企業等の方は学校と、連携・協働して活動したいと思いますか。

21件の回答



- そう思う
- どちらかといえば、そう思う
- どちらかといえば、そう思わない
- そう思わない
- どちらともいえない

横浜市ESD推進コンソーシアム交流報告会（児童生徒の部）

1/25（土）AM 横浜市技能文化会館 多目的ホール

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA

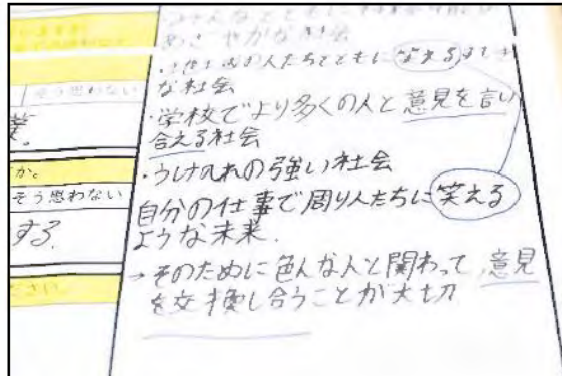
【テーマ】ヨコハマ_ラーニングコンパス～私たちが望む未来へ教育を進める～

【アクティビティ】
ポスターセッション

横浜市立SDGs達成の担い手育成（ESD）推進校、
ピースメッセンジャーの取組紹介

ワークショップ

児童生徒のグループで、「ともに未来を創る」をテーマに意見交換



横浜市生活・学習意識調査の結果

「学習を通して見いだした地域や社会の課題を自分たちで解決できると思いますか」

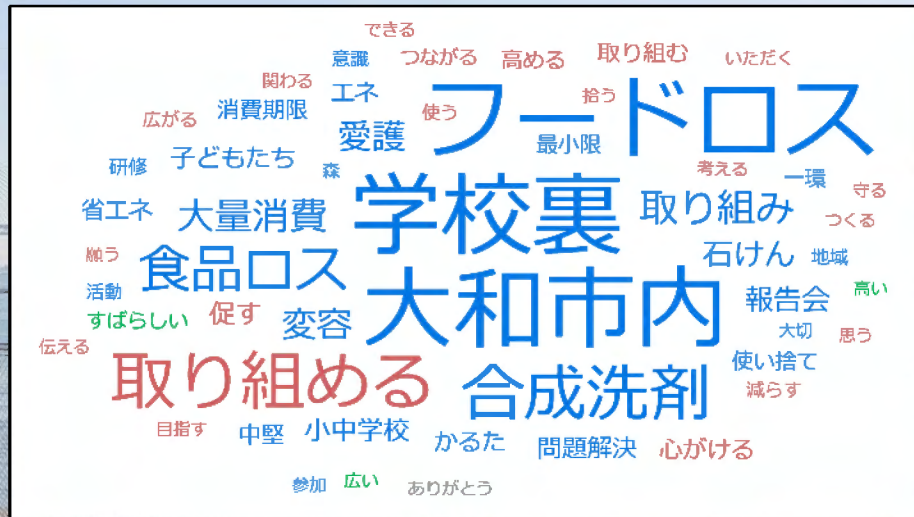
R4横浜市 小中学生	R5横浜市 小中学生	R6横浜市 小中学生	ESD推進校 小中学生 高校生
65.7%	67.6%	70.0%	86.4%

OPEN
YOKOHAMA

OPEN X PIONEER

「SDGsのゴールの達成に向けて、今自分が取り組んでいること」

大人



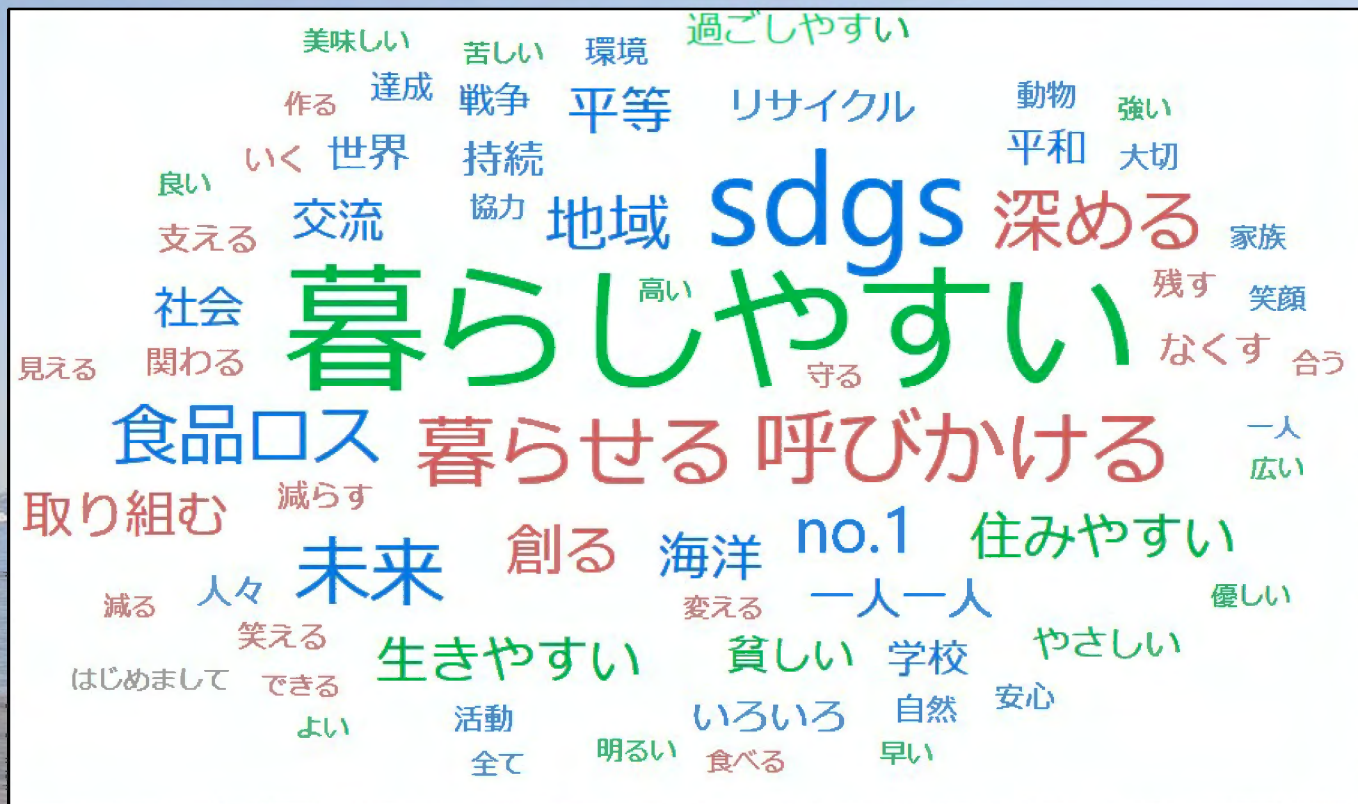
「ともに未来を創る」ワークショップ

【ワークショップ】まとめのテキストマイニング



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER



横浜市ESD推進コンソーシアム交流報告会 教職員部（1/25（土）PM）について

【テーマ】ヨコハマ_ラーニングコンパス～子どもたちが望む未来へ教育を進める～

【参加者】ESD推進校をはじめとする市立学校の教職員、
ESD関係者(教育委員、研究者、企業等) 計約50名

【アクティビティ】
ワークショップ

→午前の成果物から子どもが望む学びや学校について分析・意見交換をする。

講演とグループ協議

国立社会保障・人口問題研究所
主任研究官 佐々木 織恵 氏

→「こどもの意見表明」や「アンラーン」の視点で、
子どもが望む学びや学校教育を、
大人はどのように実現していけるかを考える。



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

「どのような学びや学校を、
子どもは望んでいると思うか」

講演と協議

「これからのESDを
こどもの意見表明とアンラーンから考える」

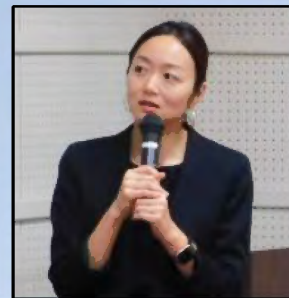
講師 国立社会保障・人口問題研究所

主任研究官 佐々木 織恵 氏



明日をひらく都市

OPEN X PIONEER



教師として、教えなきゃいけない
ことは教えなきゃいけない。
だからこそ、大人の「当たり前」
を押し付けないようにしたい。

体験や経験を通して感じた子どもの
「気づき」は、「伝えたい」と
いう欲求につながっていく。
学校も企業も外部人材とのつながり
を通して、互いの課題を解決し
ていくことができれば。

学校にずっとあるもの、当たり前
にやってきたことを見直して、
柔軟に考えることが大切。

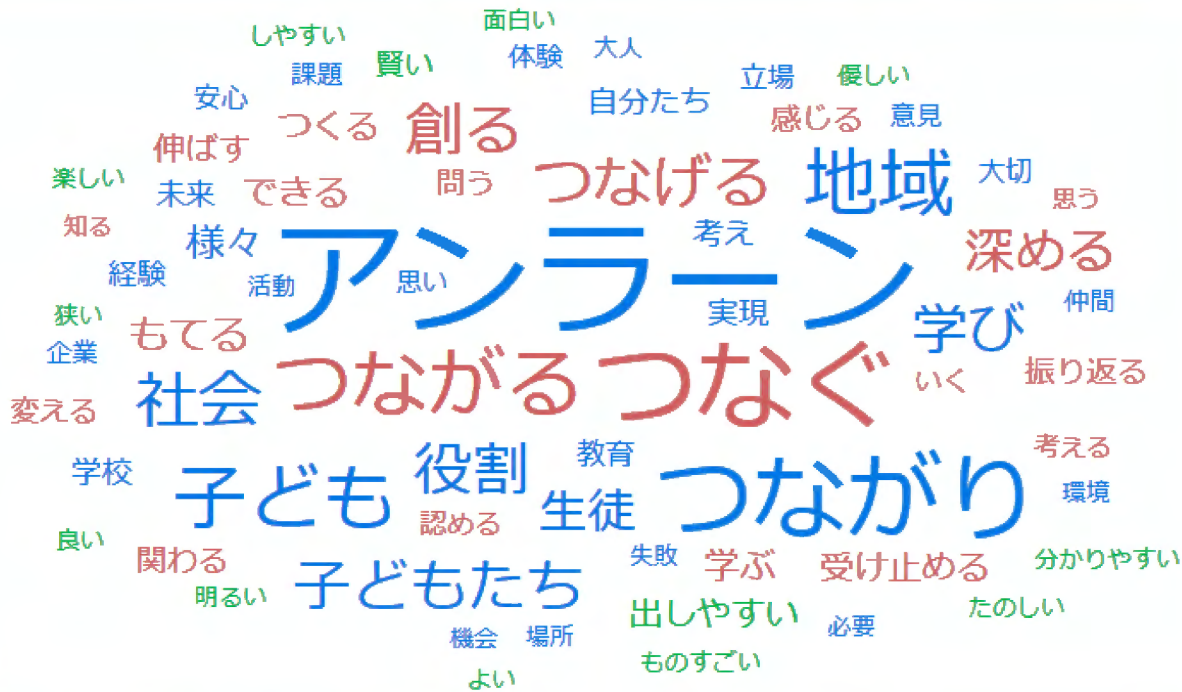
アンラーンって難しい。だから
こそ、大人が素直に考えてみる
ことや子どもの話を聞いてみる
姿勢を大切にしたい。

時代が変わっているのに、同じこと
をしていても衰退するだけだから
こそ、アンラーンが大切だと思う。



ふり返り

ともに未来を創るために、あなたが考える「学校の役割」とは



アンケート結果の テキストマイニング